

減災・医療分野で幅広く活躍できる人材を育成し

新たなキャリアアップを支援する

名古屋市立大学大学院医学研究科修士課程

減災・医療コース



中部圏では南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるなか、「減災」は大きな課題です。本学は現在、名古屋市と協力して附属病院に「救急・災害医療センター」の計画を進めています。また、令和3年4月に、名古屋市立東部・西部医療センターの大学病院化を予定しています。

このコースは、ソサイエティ 5.0 の到来に伴う高度化した災害に関わる実務や医療に対する課題解決力の向上を涵養させることに重点をおき、修了者は職種や組織を横断してリーダーシップを発揮することで同分野にて活躍し、社会に貢献することが期待されています。



2021 年度開設

*出願資格等の詳細は、学生募集要項をご覧ください。

コースの概要

1. 目的

本コースは、減災・医療を担うキャリアアップを支援する教育システムをつくり質の高い教育を
実践するとともに、関連した研究を推進することを目的としています。

2. 本コースの特色

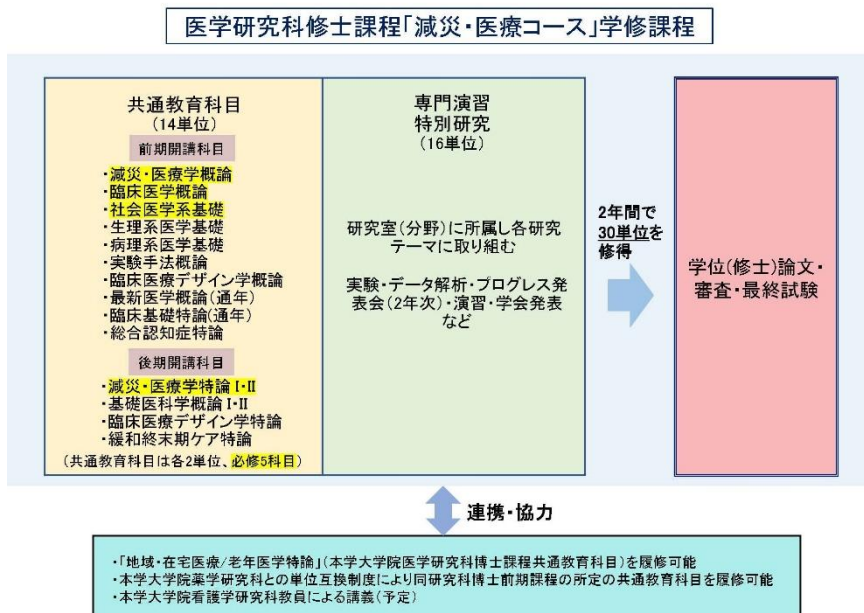
- 夜間講義を中心とする社会人向けのコース
- 救急医など各分野の現役講師による演習や実習を通じた実践的教育
- 薬学研究科前期課程科目の選択履修や看護学研究科教員による講義など研究科横断型教育

3. 求める人材像

- 救急救命士や理学療法士などを例とする国家資格を有した医療関係者
- 企業・自治体・学校等の減災担当でキャリアアップやキャリアチェンジを目指す方
- その他様々な職種での実務経験者など

4. 学修課程と学位

医学研究科修士課程の修了要件に準じますので、本コースに2年以上在学し、共通教育科目14単
位、専門演習および特別研究16単位の計30単位取得後、学位論文を提出し審査および最終試験
に合格すると、医学研究科修士課程医科学専攻の修士号が授与されます。



お問い合わせ

名古屋市立大学 教育研究科医療人育成係 大学院担当

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 Ph:052(853)8545 Email:medkyomu@sec.nagoya-cu.ac.jp